

包装タイムス 2009年1月26日発行 中部エリア特集に当社の取り組みが掲載されました。

名版 UVニスコート用樹脂版 フレキソ用製版で独自技術

名版(名古屋市北区、
☎052・902・7066)は、「UVニスコート用樹脂プレート」の開発に取り組んでいる。
近年、印刷企業においてオフセット印刷機

いる。
またオフセット印刷機によるスポットニスコーティング(表面ニス加工やパールニスコーティング)などに使用する、UVニスコート用の樹脂プレートにも力を入れており、UVニス・水性ニスそ

伸びているようだ。
同社は段ボール用フレキソ印刷用樹脂版を生産、最近では7ミル版から2・84ミル(3ミル)版に移行するなかで、印刷の汚れが起きにくい、微細な画像の再現性に優れた樹脂プレートを開発、「刷れるんです」として販売を行っている。

フレキソ印刷用印版は薄くなる傾向にあるが、同製品も高精度を維持しながら印刷オペレーターが印刷現場において負担を印刷で軽減できないかと考えたから開発された技術としている。
さらに同社では、エスコグラフィックス社
のCDI、「SPAR K4835」によるデジタルプレート製版を供給、最近のCTP化の流れのなかで製版装置のデジタル化も推進されており、より高精度、高精細印刷を可能にする樹脂プレートの生産が可能としている。
なかで、UVニスコート用プレートの販売にも力を入れている。
なお同社では、平成19年7月に中小企業庁、中小企業新規事業活動促進法(経営革新)の承認を取得し、高精細フレキソ印刷分野での需要獲得に取り組んでいる。